

【教育目標】

【知】自ら学び、考え、進んで行動する人

【徳】互いを尊重し、協力する人

【体】心身ともにたくましく健康な人

杉並区立中瀬中学校

下井草4-3-29 TEL 3399-2196

## 人は幸せになるために学ぶ

副校長 安達 紀史

生徒の皆さんは、7月27日(月)・28日(火)に行われる定期考査に向け、必死に学習に取り組んでいると思います。でもきっといろいろな戸惑いや悩みを抱えていることでしょう。

- ・中学校での初めてのテスト勉強で、戸惑っている1年生。
  - ・去年の反省を活かし早めに準備をしなければと思ってはいても、やる気が起きない2年生。
  - ・これからの進路を決めていく大切な試験だと認識してはいても、焦って困っている3年生。
- そんな君たちに、私から学習の励みになればと、以下のアドバイスを送ります。

### 『私たちは、なぜ勉強しなければならないのでしょうか？』

難しくいうと「人類が地球上に誕生してから、これまで得てきた知識を、後世に継承するため。」と言えます。

でも君たちの多くは、そんなことよりも「テストで良い点数を取るため」とか「自分の希望する高校に合格するため」に勉強する、と考えているのではないのでしょうか。

確かに、勉強すると、テストで良い点数が取れるし、自分の行きたい高校にも合格できるかもしれません。

しかし実はそれよりも、君たちの人生にとってもっと大切な「学ぶ目的」があると、私は考えます。

「勉強すると、できることが増える。」→「できることが増えると、自分がしたいことができるようになる。」→「自分がしたいことができるようになると、生活していて楽しいことが増える。」→「生活していて楽しいことが増えると、**幸せになる。**」

人生は簡単な道のりではありませんが「**勉強することは、幸せになることに繋がる**」のだと私は思います。

今後も、これまで君たちが頑張ってきた「自分で決め、選び、考える」学びに、目的をもって取り組み続けてほしいと期待しています。

## 君たちは、一人じゃない。

分からないことがあれば、友達や先生達に聞けほしい。(ソーシャルディスタンスは、取りましょう)

先生達は、いつでも Welcome です。

さ〜あ、学ぶ目的が見えてくると、勉強やる気になったかな？ では、始めましょう！！

# ～離任された先生からのメッセージ～

終業式も学年別で行うなど、全校生徒が体育館に集まることが困難な状況です。離任式はまだ先になりそうなので、ここで離任された先生から預かっているメッセージを紹介します。

皆さんに最後の宿題を出します。

- ①なイスな挨拶のできる人になること
- ②か敢なチャレンジヤーであること
- ③せん生より保護者より長生きすること

皆さんの人生がエキサイティングで楽しくありますように！

三木初香  
主任教諭



学校が再開し、中瀬中の生徒の皆さんが自分の目標に向けて歩み始めていると思います。

まだ、新型コロナウイルスの影響により、学校生活を含め日々の生活に大きな負担や制限があります。

でも、中瀬中の皆さんは、それらにがっかり向き合い、頑張っている姿が目に見えます。

上級生が行動で下級生に見本を示すことが、伝統である中瀬中ですから、全生徒の皆さんが、さらに中瀬中の伝統を発展させるものと期待しています。

森田 一路 副校長



春季休業、長期の臨時休校を経て、久しぶりに友だちや先生に会えてうれしい気持ちを弾ませていることでしょう。

私の中瀬中学校での生活は3年間という短いものでした。その中でも思い出に残っていることはクラスでの他愛もない日々です。クラス作りは毎日楽しいことも大変なこともありましたが、生徒や保護者の皆様、先生方に支えられながら生徒、担任とも成長し、濃密な時間を過ごすことができました。

女子のみなさん、辛い長距離走の授業もよく頑張ったね。体育大会のダンスもとても素晴らしく、自慢の生徒たちです。

学校が変わるのは、とても淋しいものではありますが、新しい学校で新しく出会う生徒たちと頑張ります。

みなさんもお元氣でお過ごしください。

市川愛弓 主任教諭

中瀬中学校で私の教員生活がスタートしました。大変なこと、苦労することもたくさんありましたが、生徒の成長を身近で感じることができ、私は幸せ者です。

3年間という短い時間でしたが、出逢ってくださりありがとうございました。

中瀬中学校が大好きです！

島田 航大 教諭



進級おめでとうございます。昨年度、太田先生と家庭科の授業で皆さんと一緒に楽しく刺し子のふきん作りや、調理実習ができたことを懐かしく思い出しています。


その後、3ヶ月の休校、今までとまったく違う状況のなかの再開、緊張した日々をすごしているのではないだろうか。

今、調理実習などの実施がかなり難しくなっており、本当に残念です。そんな時こそ、家庭で積極的に楽しんで調理などをし、ぜひ家庭科力を高めていってほしいです。

これから先にも大変なことが続くかもしれませんが、新しい環境でも前向きにいろいろなことを学び、乗り越えていってほしいと思います。

くれぐれも健康第一に頑張ってください。皆さんの活躍を期待しています。

小川 ことば 非常勤教諭



離任式は、卒業式・入学式と並んで、中瀬中ではとても大事にしている式です。

2・3年生にとってはお世話になった先生方であるのはもちろん、1年生にとっても、自分たちが学び生活している中瀬中を、卒業した先輩たちとともに作ってきた先生方の思いを受け止め、感謝の意を表す式なのです。

そして、それまでは迎えられる側だった新入生が、在校生として校歌を歌い、本当の意味で中瀬中生としての第一歩を踏み出す、節目の式でもあります。

今年度は1学期には離任式はできませんでしたが、全校で集まれるようになりしだい行いつもりです。その時に「成長した、立派な姿を見たい(鈴木先生)」という思いに応えられるよう、

みんなで声を掛け合って、ピンチをチャンスに前に進んでいきましょう。

最後はその鈴木先生からのメッセージです。

僕は8年前に中瀬中に来ました。皆さんがまだ小学校1年生だった時に自分がここに赴任してきたのだと思うと、すごく長い時間この学校にいたことを実感します。

こんなに長くいたにも関わらず、君たちや保護者の方々、地域の皆さんに最後のお礼の挨拶をしていくことができず、「ごめんなさい。しっかりと自分の言葉で伝えることができなかったのが心残りです。けれども、皆さんと過ごしたこの毎日には本当に楽しく、笑顔で過ごせた幸せな時間でした。

さて、皆さんは、周りの人を笑顔にすることができていますか？ またどれだけの人たちを笑顔にできていますか？

「その人がいるだけで周りの人の笑顔の輪が広がっていく。」そんな周りを照らす太陽のような人たちが、これからも中瀬中から生まれてほしい、と思っています。

皆さんは中学生ですから、たくさんの心の変化や、環境の変化で、思い悩むときが必ず来ると思っています。そんな時は、ぜひ先生に相談してください。中瀬の先生たちは君たちのことを考え、助けたい。中瀬の先生たちは君たちのことを考え、助けたい。そんな先生たち、また地域の方々、保護者の方々を頼ってください。

たくさんの手助けを借りてください。そしていつまでも笑顔でいられるような、カッコいい先輩になってください。

皆さんが成長した姿に出会える日を楽しみにしています。

「また、会いましょう！」

鈴木 裕介 教諭



## 入学式

寸前になって延期になった入学式。いつもであれば「誓いの言葉」「歓迎の言葉、合唱」などがあったのですが、今年度は新入生と保護者・教職員だけとなりました。用意していた「誓いの言葉」「歓迎の言葉」を紹介します。

『誓いの言葉』 小野 桐佳(1B)

暖かい春の日差しが降り注ぐ季節となりました。私たちは、今日から始まる中学校生活に期待で胸をふくらませ、中瀬中学校の門をくぐりました。

私は、この3年間、一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。皆さんご存じのように、新型コロナウィルスの影響により、私たちの小学校生活は一瞬にしてうばわれ、心残りがあるまま卒業をむかえた人も多くいると思います。

しかし、私はこのような状況になったからこそ、得られたこともたくさんあったと思います。何気なく過ごしてきた毎日が、どれだけかけがえのない大切なものだったかを深く感じました。

だから中学では、小学校の半分という短い3年間を、いかに充実したものにできるか、そのために、自分は何をするのか。常に自分で考えながら、全てに全力で取り組み、また、積極的に行動し、毎日を大切に過ごしていきます。

中学校では、勉強する内容が難しくなり、部活も始まります。なれない環境でのスタートですが、仲間と協力し合い、高め合いながら、楽しい3年間にしていきます。

まだまだ未熟な私たちですが、先生方、先輩方、学校関係者の方々に支えられながら、実りある中学校生活を送っていきたいと思います。これから、どうぞよろしくお祈りします。

『歓迎の言葉』 金澤 侑生(3A)

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。私たち中瀬中生は皆さんを、心から歓迎します。

今、皆さんの胸の中には様々な不安や期待があることでしょう。でも中学校は小学校より、はるかに充実した時間を過ごす事ができる場所です。心配は無用、これからの3年間を楽しみにしてください。

ここで中学校生活を充実したものにするための三つのコツをお話します。

一つ目は「夢中になれるものを見つける」です。夢中になるものが見つければ、中学生活は8割がた充実できるし、今後の人生にも影響します。

僕の場合は陸上部で夢中になるものを見つけ、今でも楽しく活動しています。もしすぐに見つかりそうもない時は、少し大変そうな部に入ってみるのもお勧めです。

二つ目は「人として最低限の礼儀を忘れない」です。皆さんの不安の一つは、先輩や先生との接し方だと思います。でも最低限の礼儀をわきまえていれば、最初は怖く見えても、面白く優しい人ばかりです。先輩や先生との関りは、

きつと皆さんの生活を豊かにしてくれるでしょう。

三つ目は「自分のために人に尽くす」

です。これは僕が生徒会長の仕事をすることで、(続く)



学んだことでもあります。

生徒会は自分からではなく、先生に勧められて始めた仕事です。でも今は楽しくて仕方ありません。

人のためにやっていた仕事や、いつの間にか自分を満たしてくれるものになっていました。人のために時間をつかうことは一見無意味に思えます。でもその時間は、何倍にもなつて自分のもとに戻ってきます。

どんな小さな事でもいい。友達の手伝いを聞く、家の手伝いをしてみるでも大いに結構。ぜひ自分のために人に尽くしてみてください。

最後に、僕が好きな『重版出来』という漫画の中の、日々大切にしている言葉を紹介し

ます。  
「運は貯められる。いいことをすれば貯まり、悪い事をすればすぐに減る。運が味方をすれば、幸福は何倍にも膨れ上がる。見極める。運を使いこなせ。」

この言葉を参考に、二つのコツを実践すれば、皆さんの中学校生活は絶対に充実したものになります。ぜひ行動に移してください。

それでは新入生の皆さん。

共に中瀬中の新たなページを作っていきます。



## 休校期間を振り返って

それぞれの学年便りでも休校期間中の取組や考えたことが載っていました。ここで改めて3年生の文を紹介します。

### 「意識を変える期間」 3A 小林 杏

当り前に来ると思っていた中学校生活最後の1学期。最後のクラスで体育大会や修学旅行などを楽しんで。自分の目標のために勉強を頑張つて・・・。何もしなくても、勝手に訪れると思っていた日常は、私が想像していたものとは大きく違っていた。

4月からの約2ヶ月間、私は「3年生になった」という自覚が持てずにいた。世間の変化をつまぐ飲み込むことができずにいた。それに加えて、自分は意志が強いわけでもなく、自ら机に向かうことが出来なかった。不規則になつていく生活や、勉強しようと思っても結局他のことをしてしまっている自分、わかっていただけれど変えることができなかった。

「今日も何もできなかったなあ。」そう思う日が増えてきた時、ふと今まで見てこなかった他の生徒からのコメントが載ったプリントを見てみた。そこには、同じ3年生はもちろん、1年生や2年生でさえ、自分に合った勉強の方法を見つけている人や、今できることに意欲的に取り組んでいる人がいた。それは一部の人だったかも知れないけれど、私はそうなりたと思った。

そこから私は自分なりの方法を探していった。例えば、私は何か他のことを始めたらそればかりになるので、午前中のうちに勉強をするなど。そのために自分の生活を見直すこともできた。また、今までなら何か趣味のことをするにも、「何もしてないの。」と感じていた罪悪感も無くなった。少しずつ生活が変わっていった。

この休校期間、退屈だし悩むこともあった。けれど辛いだけの期間ではなく、今後、再び来るかも知れない自粛、控えている受験、それに対応できるものを少し見つけられた気がする。

今後しばらく不安な状態が続くだろうが、塞ぎ込むだけでなく、何か成長できるような行動を起こしていきたい。

6月に学校が再開してから2か月あまり、徐々に授業・部活・学級とできることが広がってきました。

でも **休校期間中に君たち生徒がしてきた苦勞や思いを、なかったことにしてはならない。** それどころか、**その苦勞と思いこそがこれからの世界を切り拓くのだ**と思います。

生徒一人一台のタブレットとネット環境で、学びを進めていく時代が、すぐそこまで来ています。コロナはそのきっかけにしかすぎません。

**新しい時代に向かう人になろう！**



<休校中の美術の課題 左上:2B 野口 葵、右上:1D 古賀晴子  
左下:3A 中山 凧、右下:3D 元山匠斗>